

KENKI MARUYAMA

丸山 健貴

(入社7年目)

筑後川上流総合管理所

寺内ダム再生・筑後川水系ダム群連携事業推進室 用地課

【現在の業務内容】

関係機関との調整業務、補償調査、補償業務に関する業務を担当

— 印象に残っている仕事は

新卒で配属された思川開発建設所で携わった南摩ダムの完成です。配属当時はまだ本体工事が始まっておらず、予定地は山のままでした。貯水池予定地や周辺の山に行くたびに「ここにどんなダムができるのだろう」と想像していました。転勤後、完成し試験湛水した写真を見たとき、自分もこの大きな事業に関わっていたのだと実感し、とても印象に残っています。

— 水資源機構を志望した理由は

大学の先輩に誘われてダム巡りをした際、ダムカードを配る仕事も楽しそうだなと思ったのがきっかけです(笑)。その後調べる中で、水の供給や防災など公共性の高い役割を担っていることを知り、入社を決めました。

— 入社して良かったところは

入社してから3回転勤を経験しましたが、どの事務所でも上司・同

僚に恵まれ、休みも取りやすい環境であるため、働きやすいと感じています。

— 仕事で大切にしていることは

相手の立場に立って考えることです。意見が異なるときこそ、譲れない点と歩み寄れる点を整理し、お互いが納得できる着地点を探るよう心がけています。

— これから入社を希望する方へのメッセージ

機構は公共性が高く、社会や人の役に立ちたい人に向いている職場です。事務系では総務・人事・経理・用地など幅広い職種があり、自分に合う仕事を見つけられると思います。ぜひ皆さんも機構で働いてみませんか？



MAYU SUZUKI

鈴木 麻友

(入社4年目)

木曾川上流ダム総合管理所 設備課

【現在の業務内容】

阿木川ダムおよび岩屋ダムにおける機械設備の維持管理や点検業務等の発注、監督業務等を担当

— 印象に残っている仕事は

前任地の利根導水総合管理所で、除塵設備の新設工場の発注を担当したことです。事前に設計業務を行っていましたが、いざ発注となると課題も多く、本社の機械担当や上司、先輩方にお力添えいただきました。時間はかかりましたが、無事に契約までやり遂げられたときの達成感は大きかったです。多くの方の支えがあってこそ進められた仕事であり、今でも感謝しています。

— 水資源機構を志望した理由は

小学生の頃に浄水場を見学した経験から、水インフラの仕事に関心を持ちました。研究室で流量計の研究をしていたこともあり、その知識を生かせるのではと考え、機構を志望しました。

— 入社して良かったところは

入社時の決め手は、面接で出会った職員の人柄でした。入社後の

今、周りには、成長を見守り、指導してくださる面倒見の良い上司や、率直な意見を言っても受け止めてくださる先輩方がおり、風通しの良い職場だと思います。

— 仕事で大切にしていることは

「無理をしすぎず、素直に、楽しむ気持ちをもつこと」です。分からないことは積極的に学び、悩みやミスは早めに上司へ相談するよう心がけています。

— これから入社を希望する方へのメッセージ

公共性が高く、やりがいを感じられる仕事です。職場は温かく、支え合いながら働ける環境があります。出向や国際業務など希望によって様々な経験を積める機会も多いので、ぜひ機構の業務に興味を持っていただくと嬉しいです。



シリーズ 第5回 次代をつなぐ力



SUZUHA MOROISHI

諸石 涼羽

(入社3年目)

木曾川上流ダム総合管理所 川上ダム管理所 設備課

【現在の業務内容】

環境・水質関係業務の発注や監督、環境保全施設(人工巣穴や遡上路)のメンテナンス、特別天然記念物オオサンショウウオに関する法手続きを担当

— 印象に残っている仕事は

真夏に胴長を着て人工巣穴のメンテナンスを行ったことです。体力的に大変でしたが、オオサンショウウオの生息環境を維持・改善する重要な仕事だと実感しました。川上ダムでなければ経験できなかったと思います。

— 水資源機構を志望した理由は

医療系大学で公衆衛生を学ぶ中で、水環境の重要性を強く感じ、水に関わる仕事がしたいと思いました。生活に欠かせない水を届け、洪水時には被害軽減に努めるという、人の暮らしに直結する仕事であることを知り入社を決めました。

— 入社して良かったところは

研修制度が整っているため、全く畑違いからの入社でも、学びやすく働きやすいところが良いと思います。また、私の“押しポイント”は、

福利厚生や休暇制度が充実しているところです。中途入社の方や外部の方からは、かなりホワイトな企業だと聞きます。

— 仕事で大切にしていることは

まずは自分で調べて挑戦すること。ただ、抱え込まず早めに相談することも意識しています。

— これから入社を希望する方へのメッセージ

関東から九州まで勤務地があり、同じ職種でも様々な仕事ができます。自分に合った仕事や、やりたいことができる職場だと思います。専攻が違って、興味さえあれば働きやすい職場です。



水資源機構の次代をつなぐ若手職員の皆さんに、就職先に機構を選んだ理由、

これから入社を希望する方へのメッセージなどを伺いました。(入社年数・所属事務所は令和8年3月現在)



SHOGO WATANABE

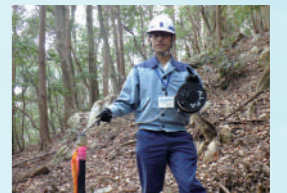
渡辺 笙悟

(入社5年目)

豊川用水総合管理所 調査設計課

【現在の業務内容】

豊川用水二期事業に関する水路トンネルや水路工事の発注及び設計業務等を担当



— 印象に残っている仕事は

新人研修直後に行った管内調査です。直径2メートルを超える管の中に入り、機構施設の規模の大きさを体感しました。充水作業にも参加し、構造や留意点を現場で学べたことは大きな経験です。さらに、マンホール蓋の開閉操作も印象的でした。普段一般の人は意識しない施設だと思いますが、機構業務として自らマンホール蓋を開け、その中の管理施設を操作することで水インフラ施設を支えている実感が湧きました。

— 水資源機構を志望した理由は

中学生の頃に琵琶湖の治水や水利用を調べたことがきっかけで、水分野に関心を持ちました。大学では河川工学を学び、公共的な立場で社会に貢献したいと考え、機構を志望しました。

— 入社して良かったところは

数十億円規模の水路トンネル工事の発注などの重要な仕事について、上司や同僚の優しく指導・協力を受けながら進められる環境が良かったです。

— 仕事で大切にしていることは

同じように見える事象でも背景や条件の違いを丁寧に考えることです。前例にとらわれすぎず、その時々で最適な判断ができるよう心がけています。

— これから入社を希望する方へのメッセージ

機構の豊川用水は、東三河地域の暮らしや産業を支える水を届けています。

東三河地域を舞台にした人気アニメ『負けヒロインが多すぎる』で、主人公が同じ敷地内の蛇口から出る水道水、その違いがどこから生じているか考察し、「蛇口による味の違いを知る人間は少ない。」と語る場面があります。一見同じでも、背景にはさまざまな要因があるそんな示唆的なセリフです。

機構の仕事でも、似ているようで少しずつ違う場面が多く直面します。仕事の進め方や施設の構造、地域条件などのわずかな違いが、業務の重要なポイントになることがあります。

「似ているから同じ。」と考えるのではなく、その違いと背景を理解しようとする姿勢を大切にしたい。そうした視点を持つと、ぜひ一緒に働きたいと思っています。